

4 クラッチ

クラッチ点検, 調整	4-2
クラッチ点検, 調整	4-2
クラッチペダル.....	4-2
準備品	4-2
クラッチペダル	4-3
脱着分解構成図	4-3
クラッチマスターシリンダー	4-4
準備品	4-4
クラッチマスターシリンダー.....	4-5
脱着構成図	4-5
分解構成図	4-6
クラッチリリースシリンダー	4-7
準備品	4-7
クラッチリリースシリンダー.....	4-7
脱着分解構成図	4-7
クラッチ ASSY.....	4-8
準備品	4-8
クラッチ ASSY (1G-FE 搭載車)	4-9
分解構成図	4-9
クラッチ ASSY 取りはずし作業上の留意点.....	4-10
クラッチ構成部品の点検.....	4-10
ベアリング交換	4-10
クラッチ ASSY 取り付け作業上の留意点.....	4-11
クラッチ ASSY (1JZ-GTE 搭載車)	4-12
分解構成図	4-12
クラッチ ASSY 取りはずし作業上の留意点.....	4-13
クラッチ構成部品の点検.....	4-13
ベアリング交換	4-13
クラッチ ASSY 取り付け作業上の留意点.....	4-14

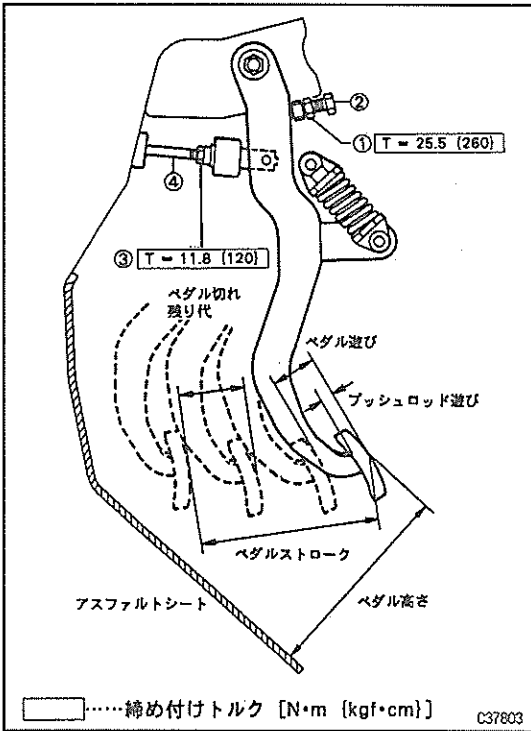
クラッチ点検, 調整

クラッチ点検, 調整

基準値一覧表

	基準値 (mm)
ペダル高さ	153~163
プッシュロッド遊び	1~5
ペダル遊び	5~15
ペダル切れ残り代	25 以上
ペダルストローク	135~145

- ①② ・ペダル高さは、アスファルトシート上面から調整する。
- ・ペダル高さが基準値内に収まらない場合は、①→②→①の順で調整する。
- ・ペダル遊びおよびプッシュロッド遊びが、基準値内に収まらない場合は、③→④→③の順で測定する。また、調整後はペダル高さを点検する。




4

クラッチペダル

準備品

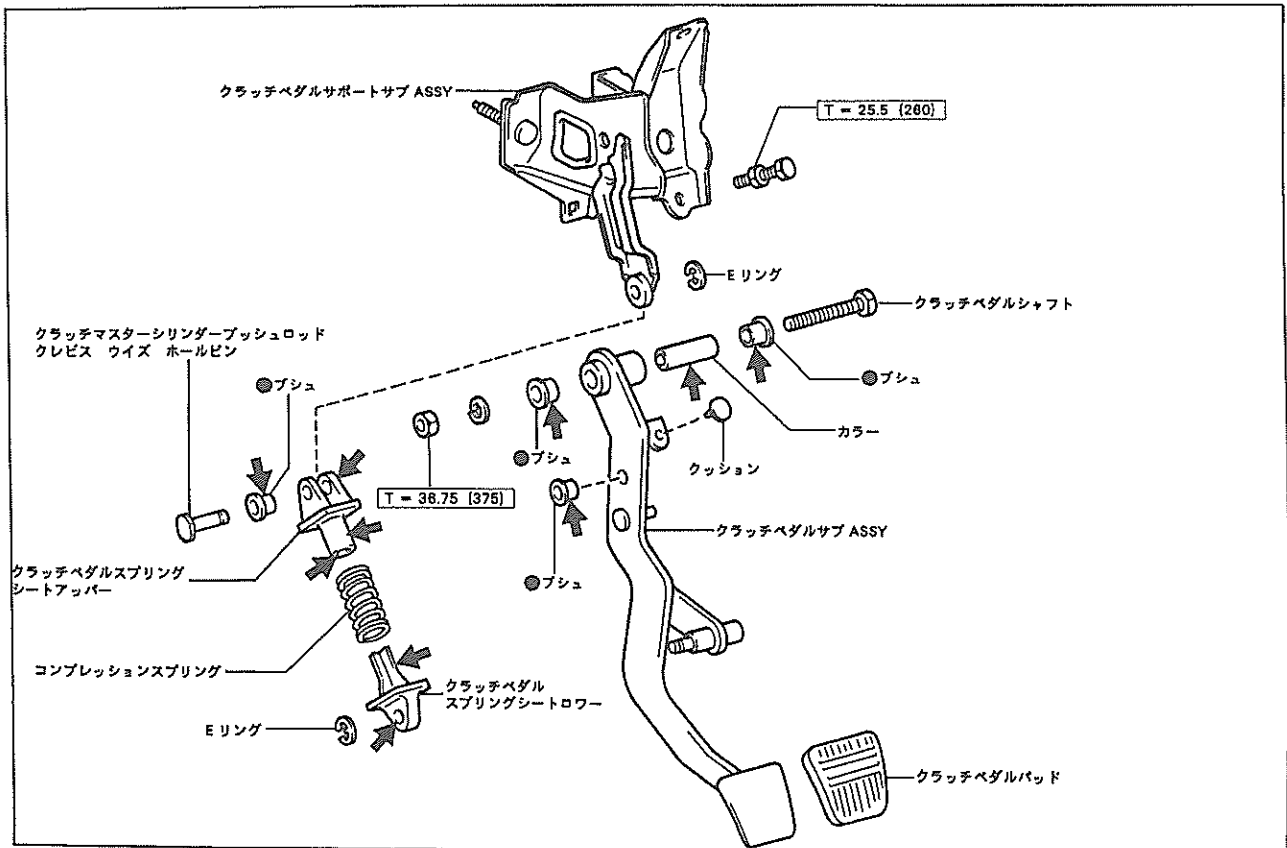
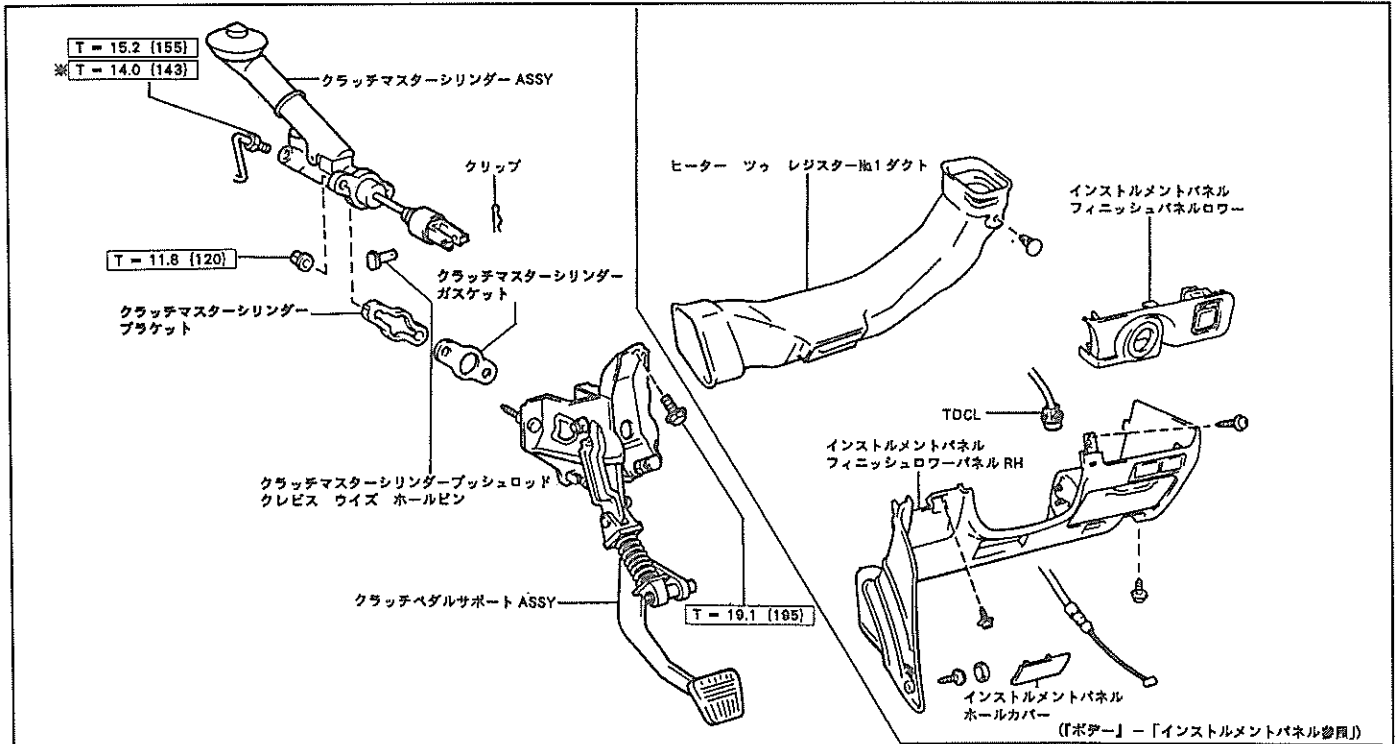
工具

	09023-00100 ユニオンナットレンチ	クラッチチューブ切り離しおよび接続用
油脂・その他		
トヨタ純正 MP グリースNo.2	30204	各部塗布用
トヨタ純正 ブレーキフルード 2500H	32503	クラッチおよびブレーキエア抜き用

クラッチペダル

脱着分解構成図

4



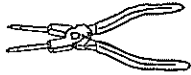
※.....ユニオンナットレンチおよびトルクレンチ 230F 使用時
 ←.....トヨタ純正 MP グリース№2 塗布 ●.....再使用不可部品 ◻.....締め付けトルク [N・m (kgf・cm)]

C39001


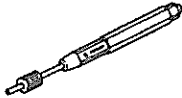
クラッチマスターシリンダー

準備品

S S T

	09905-00013	スナップリングプライヤー *	ホールスナップリング脱着用
---	-------------	-------------------	---------------

工 具

	09023-00100	ユニオンナットレンチ	クラッチチューブ切り離しおよび接続用
	09031-00040	ピンポンチ (φ 5mm) *	スロッチッドスプリングピン脱着用

油脂・その他

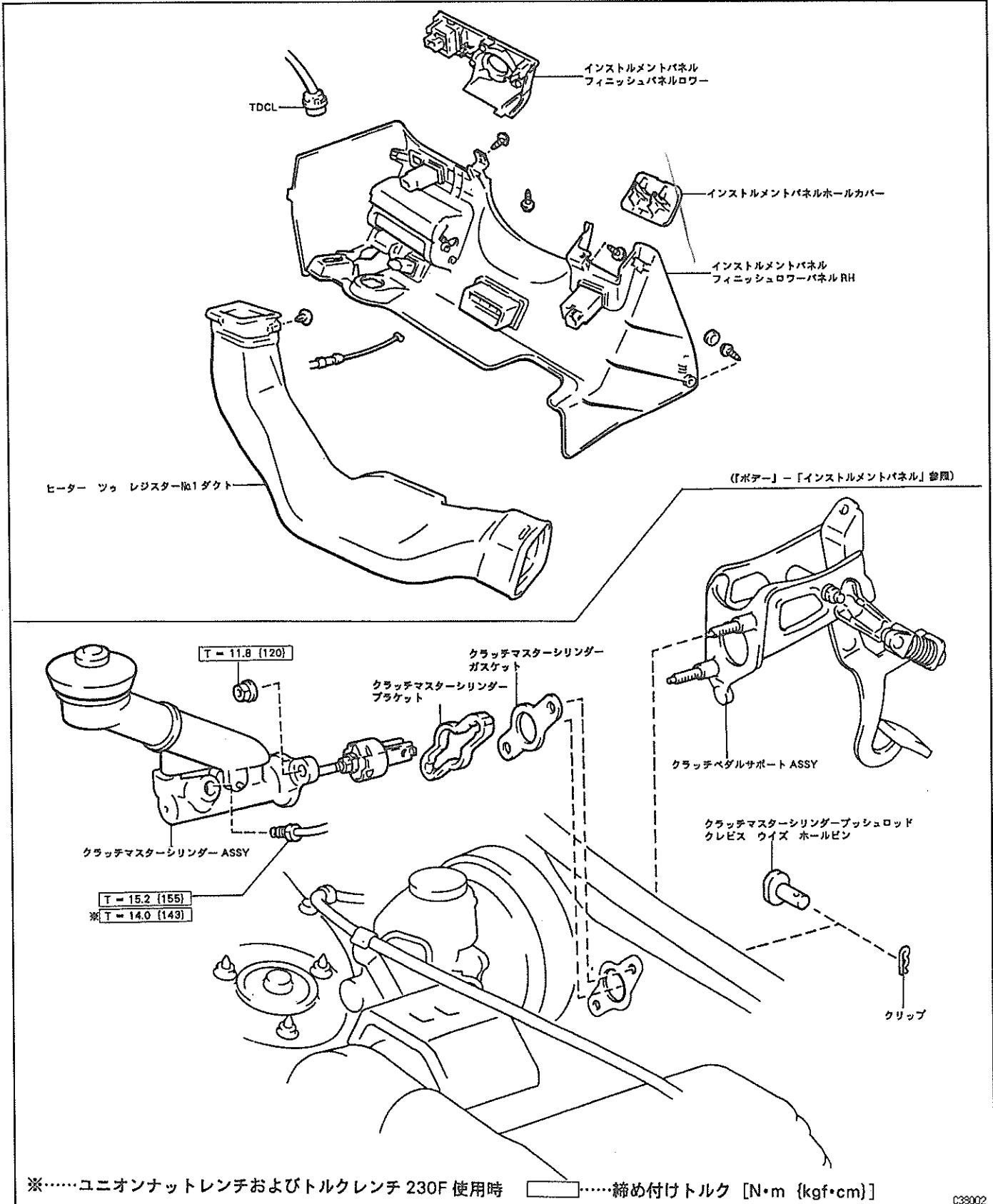
トヨタ純正 ラバーグリース	30002	各部塗布用
トヨタ純正 ブレーキフルード 2500H	32503	クラッチおよびブレーキエア抜き用

4

クラッチマスターシリンダー

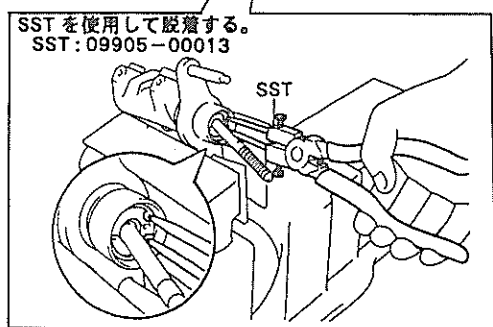
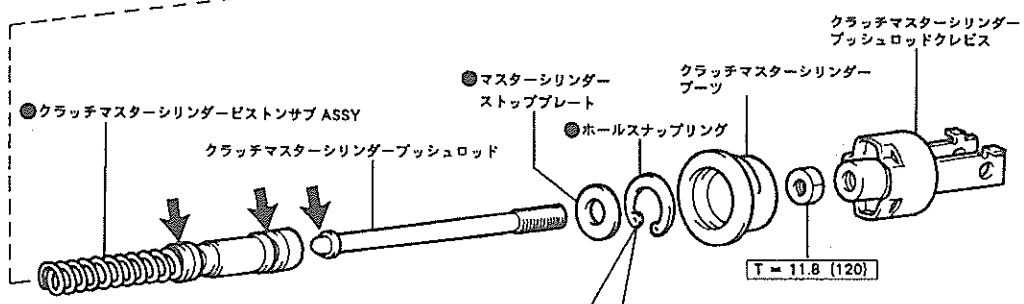
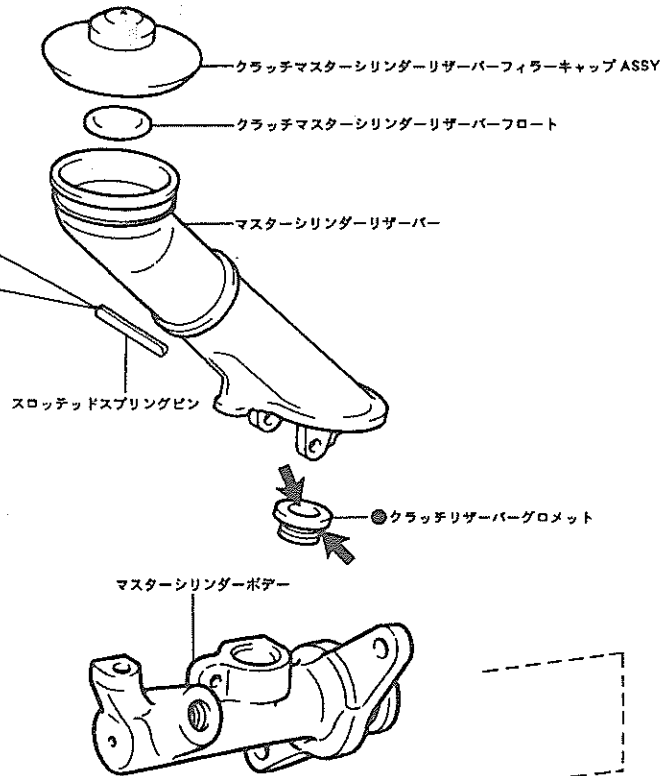
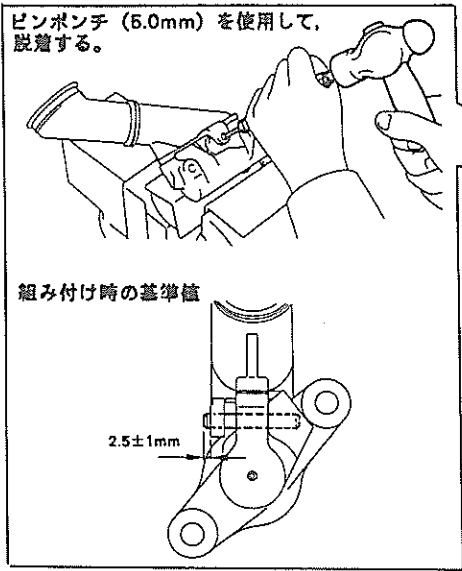
脱着構成図

4



分解構成図

4



←.....トヨタ純正 ラバーグリース塗布 ●.....再使用不可部品 □.....締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]

クラッチリリースシリンダー

準備品

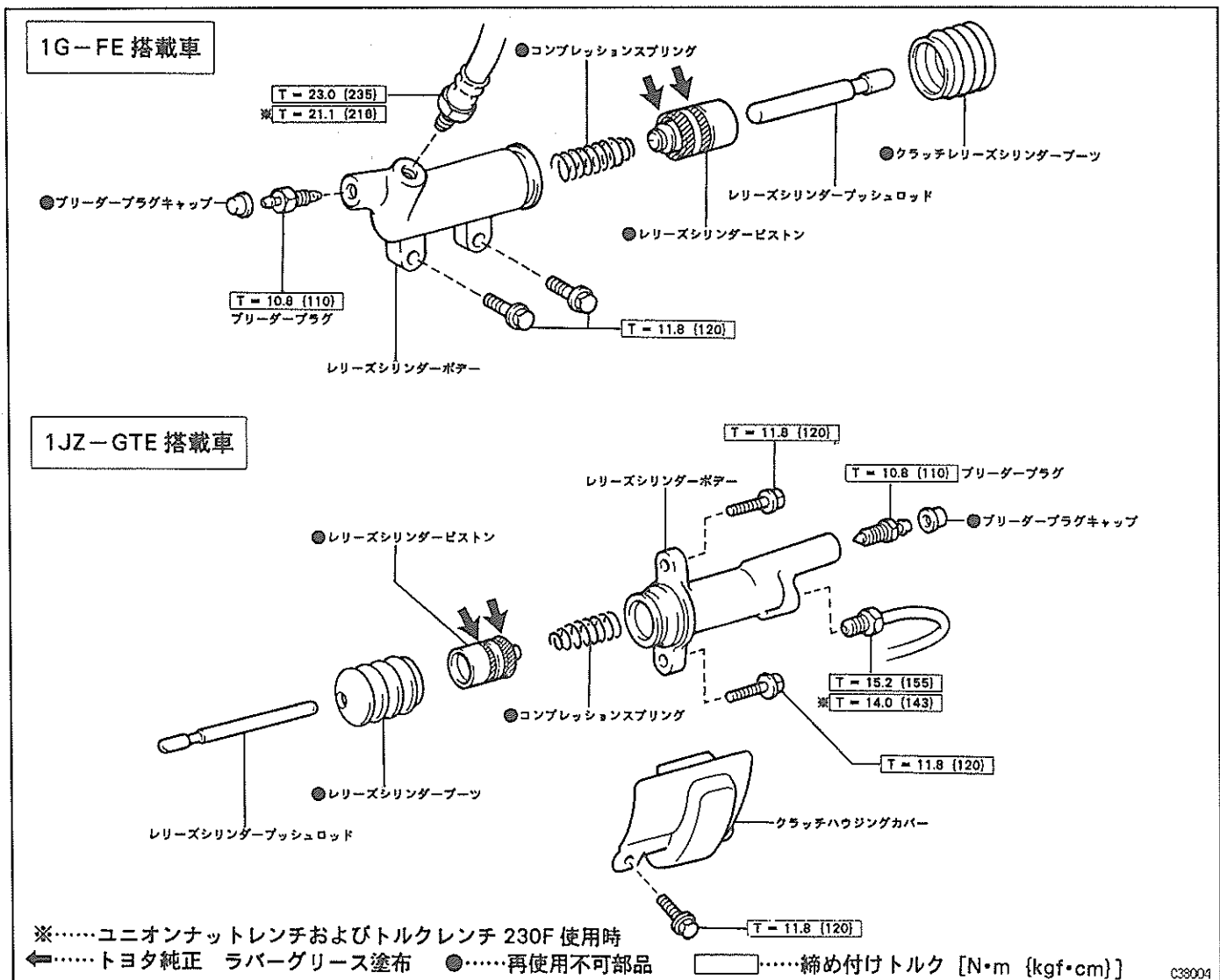
工具

	09023-00100	ユニオンナットレンチ	クラッチチューブ切り離しおよび接続用
油脂・その他			
トヨタ純正 ラバーグリース		30802	各部塗布用
トヨタ純正 ブレーキフルード 2500H		32503	クラッチおよびブレーキエア抜き用

4

クラッチリリースシリンダー




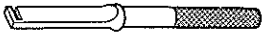

脱着分解構成図




クラッチ ASSY

準備品


SST

	09250-10011 リプレーサーセット A	
	(09252-10010) リプレーサーハンドルNo.1	ベアリング (インプットシャフト) 取り付け用
	(09254-10010) タイミングギヤカバープッシング リムーバー & リプレーサー	ベアリング (インプットシャフト) 取り付け用
	09301-00110 クラッチガイドツール *	クラッチディスクガイド用
	09303-35011 インプットシャフトフロント ベアリングプラー	ベアリング (インプットシャフト) 取りはずし 用
	09333-00013 クラッチダイヤフラムスプリング アライナー	ダイヤフラムスプリングフィンガー部高さ調整 用
	09905-00012 スナップリングNo.1 エクスペンダー *	スナップリング脱着用 (1JZ-GTE 搭載車)

工具

	09023-00100 ユニオンナットレンチ	クラッチチューブ切り離しおよび接続用
---	------------------------	--------------------

計器

	AA-828 ローラー測定子 輪バンザイ扱い、輪イヤサカ扱い	クラッチ ASSY 点検用
ダイヤルゲージ	21201	クラッチカバー、クラッチディスクおよびフライホイール点検用
ノギス (0~200mm)	20201	クラッチディスク点検用

油脂・その他

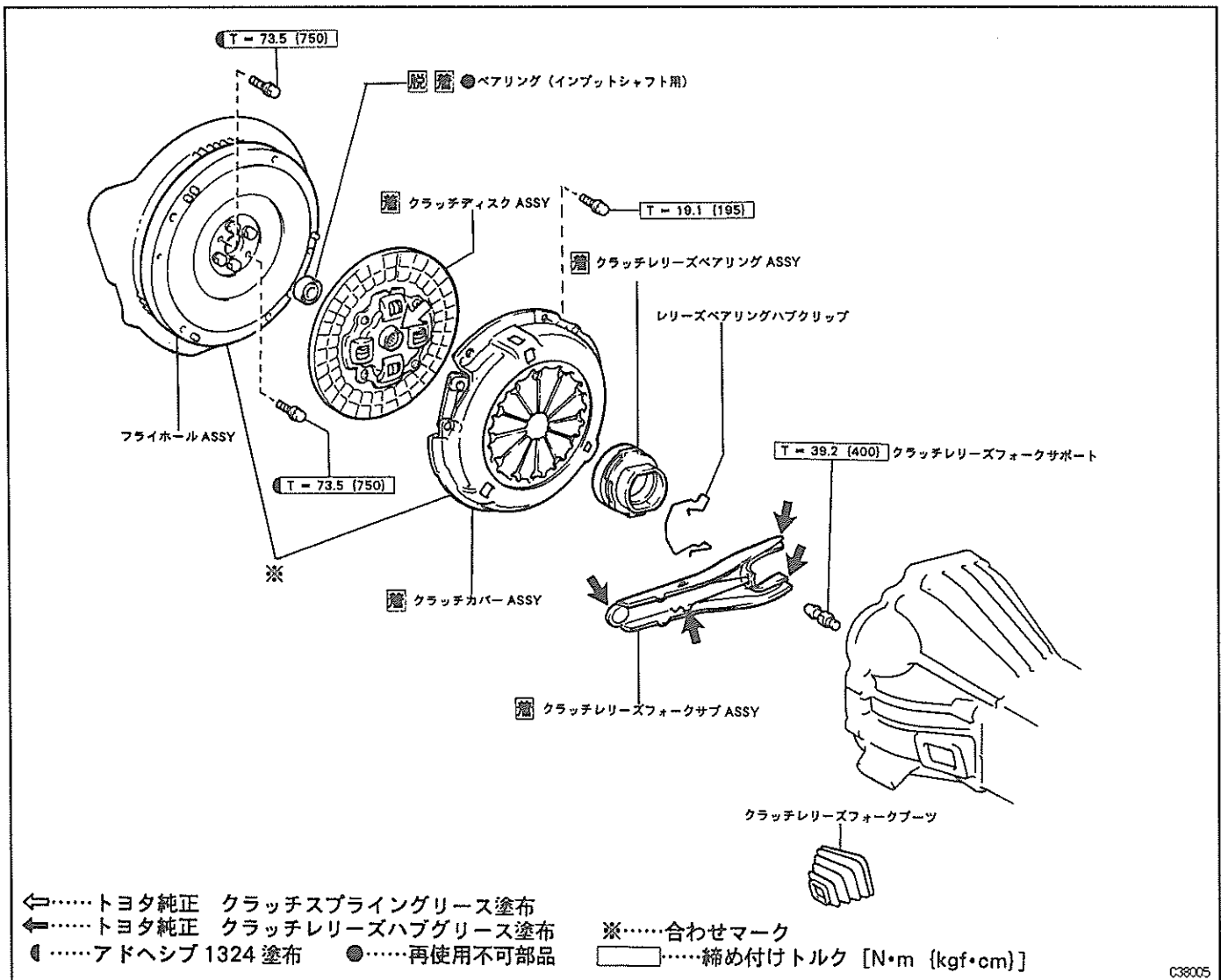
トヨタ純正 MP グリースNo.2	30204	各部塗布用
トヨタ純正 クラッチリリースハブグリース	30505	各部塗布用
トヨタ純正 クラッチスプライングリース	30506	各部塗布用
アドヘシブ 1324	50401	各部塗布用

クラッチ ASSY (1G-FE 搭載車)

TO048481

4

分解構成図



C38005

クラッチ ASSY 取りはずし作業上の留意点

注意 クラッチディスクのライニング部、プレッシャープレートおよびフライホイールの表面に油脂、異物などを付着させない。

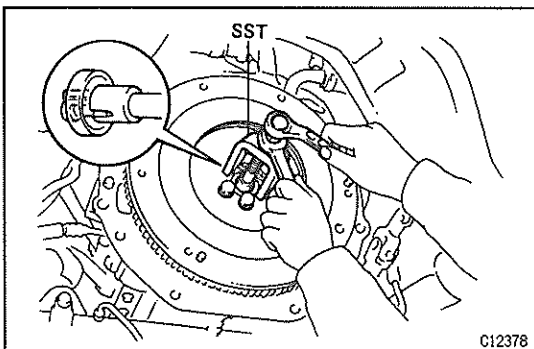
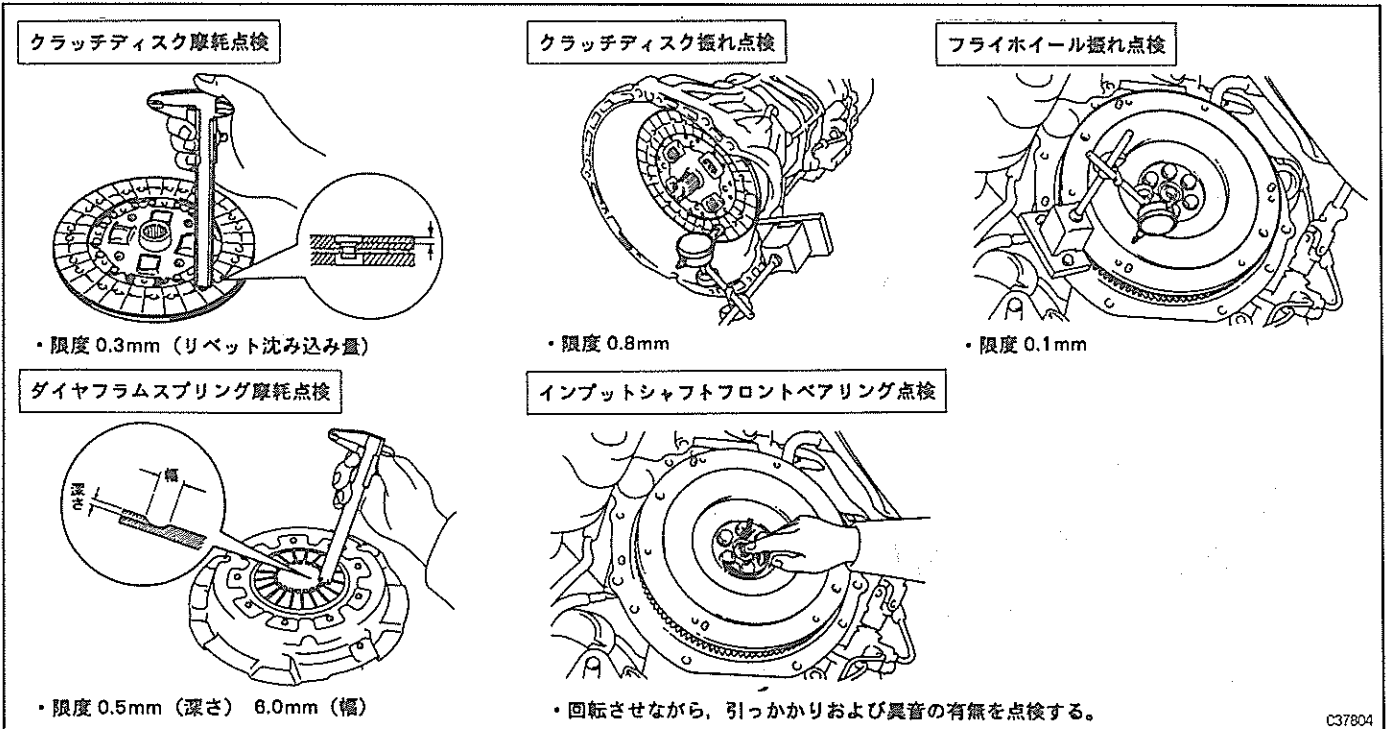
1 トランスミッション ASSY 取りはずし

〔マニュアルトランスミッション〕－「トランスミッション ASSY」

－「トランスミッション ASSY 脱着構成図」参照

クラッチ構成部品の点検

4



ベアリング交換

注意 リリースベアリング不良の場合は、リリースベアリング ASSY で交換する。

1 ベアリング交換 (インプットシャフト用)

- (1) 対角線上のフライホイール取り付けボルトを取りはずし、SST を使用してベアリングを取りはずす。

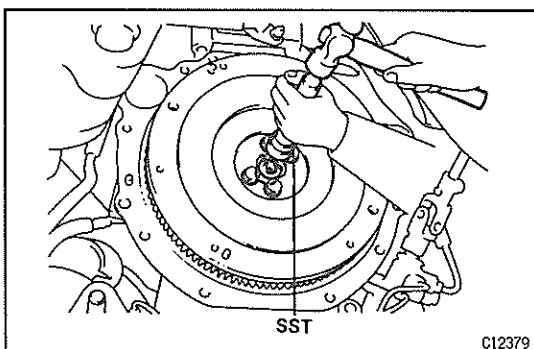
S S T 09303-35011

- (2) SST を使用して、新品のベアリングを取り付ける。

S S T 09252-10010 09254-10010

- (3) フライホイールセットボルトおよびボルト穴を脱脂する。
 (4) ボルトの先端より 2～3 ネジ山にアドヘシブ 1324 を塗布し、ボルトを取り付ける。
 (5) クランクシャフトプーリーを固定し、ボルトを締め付ける。

注意 組み付け後、1 時間以内はエンジンを始動しないで放置する。



クラッチ ASSY 取り付け作業上の留意点

1 クラッチディスクおよびクラッチカバー取り付け

(1) SST を使用して、クラッチディスクをセンターリングする。

S S T 09301-00110

(2) フライホイールとクラッチカバーの合わせマークを合わせ、
ノックピンに近いボルトから軽く締め付け、SST を上下左右に
軽くゆすりディスクが中心位置にあることを確認し本締めする。

注意 ボルトを数回に分けて均等に締め付ける。

4

2 ダイアフラムスプリングフィンガー部高さ不揃い点検、修正

(1) ローラー測定子を付けたダイヤルゲージを使用して、フライホイールを回転させフィンガー部の高さ不揃いを点検する。

限 度 0.5mm

(2) 限度を超える場合は SST を使用して、フィンガー部の高さ不揃いを修正する。

S S T 09333-00013

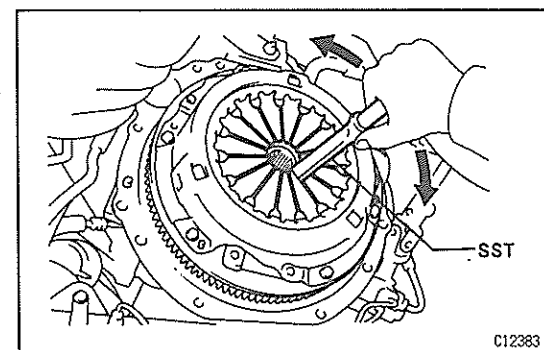
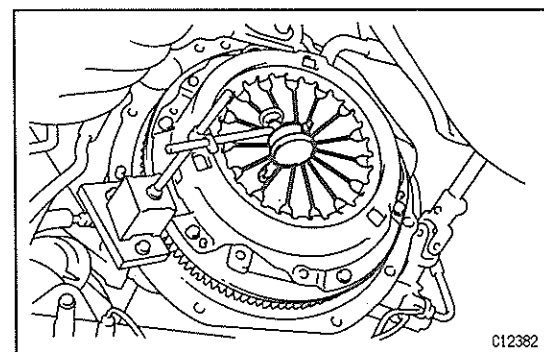
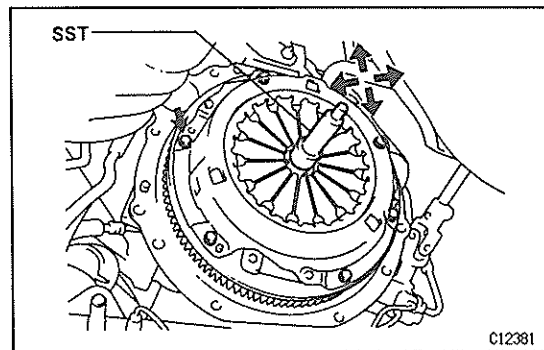
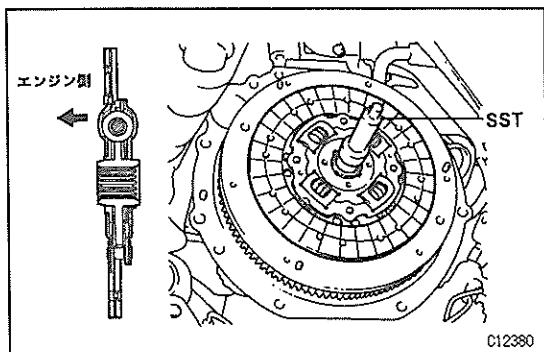
3 クラッチリリースベアリングおよびフォーク取り付け

注意 取り付け後、フォークを前後に動かしハブがスムーズに摺動することを確認する。

4 トランスミッション ASSY 取り付け

〔マニュアルトランスミッション〕－「トランスミッション ASSY」

－「トランスミッション ASSY 脱着構成図」参照



クラッチ ASSY 取りはずし作業上の留意点

注意 クラッチディスクのライニング部、プレッシャープレートおよびフライホイールの表面に油脂、異物などを付着させない。

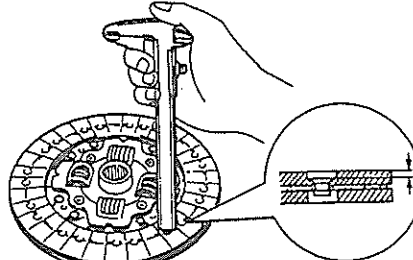
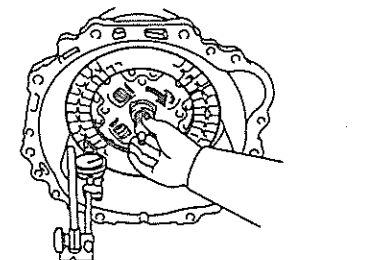
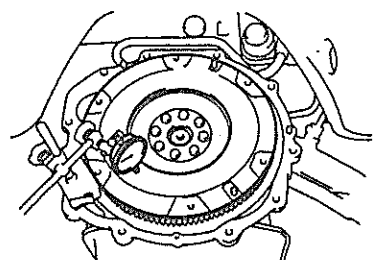
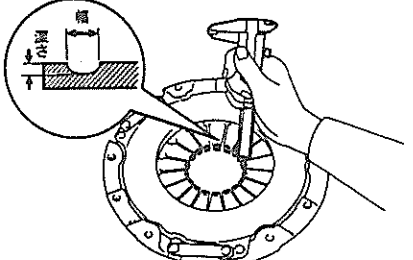
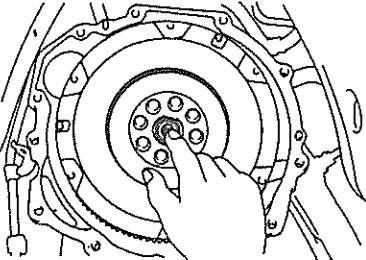
1 トランスミッション ASSY 取りはずし

〔マニュアルトランスミッション〕－「トランスミッション ASSY」

－「トランスミッション ASSY 脱着構成図」参照

クラッチ構成部品の点検

4

<p>クラッチディスク摩耗点検</p>  <p>・限度 0.3mm (リベット沈み込み量)</p>	<p>クラッチディスク振れ点検</p>  <p>・限度 0.8mm</p>	<p>フライホイール振れ点検</p>  <p>・限度 0.1mm</p>
<p>ダイヤフラムスプリング摩耗点検</p>  <p>・限度 0.5mm (深さ) 6.0mm (幅)</p>	<p>インプットシャフトフロントベアリング点検</p>  <p>・回転させながら、引っかかりおよび異音の有無を点検する。</p>	

C37805

ベアリング交換

注意 レリーズベアリング不良の場合は、レリーズベアリング ASSY で交換する。

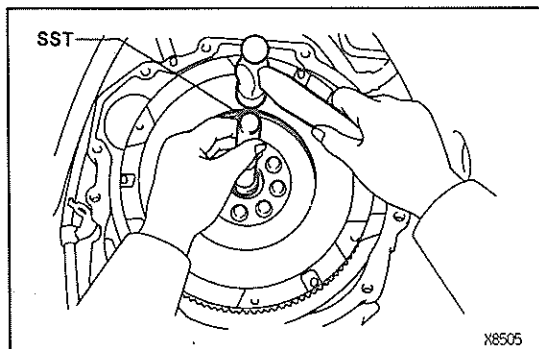
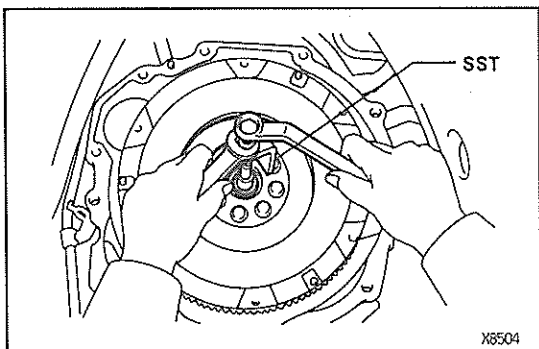
1 ベアリング交換 (インプットシャフト用)

(1) SST を使用して、ベアリングを取りはずす。

S S T 09303-35011

(2) SST を使用して、新品のベアリングを取り付ける。

S S T 09252-10010 09254-10010



クラッチ ASSY 取り付け作業上の留意点

1 クラッチディスクおよびクラッチカバー取り付け

(1) SST を使用して、クラッチディスクをセンターリングする。

S S T 09301-00110

(2) フライホイールとクラッチカバーの合わせマークを合わせ、ノックピンに近いボルトから軽く締め付け、SST を上下左右に軽くゆすりディスクが中心位置にあることを確認し本締めする。

● ボルトを数回に分けて均等に締め付ける。

2 ダイアフラムスプリングフィンガー部高さ不揃い点検、修正

(1) ローラー測定子を付けたダイヤルゲージを使用して、フライホイールを回転させフィンガー部の高さ不揃いを点検する。

限 度 0.5mm

(2) 限度を超える場合は SST を使用して、フィンガー部の高さ不揃いを修正する。

S S T 09333-00013

3 クラッチディスク取り付け

● クラッチディスクの方向を間違えない。

4 クラッチリリースフォーク取り付け

● 組み付け後、リリースフォーク ASSY を前後に動かし、ハブがスムーズに摺動することを確認する。

5 トランスミッション ASSY 取り付け

【『マニュアルトランスミッション』 - 「トランスミッション ASSY」

- 「トランスミッション ASSY 脱着構成図」参照)

